

宮崎県立図書館の沿革

宮崎県立図書館は、明治35年（1902年）5月28日に、当時の私立日洲教育会から附属図書館の寄贈を受けて開館（全国では京都、秋田に次ぐ3番目に設立）しました。

ちなみに、その3年後、本県出身の小村寿太郎全権大使のご尽力で、日露戦争を終結させるポーツマス条約が締結されました。



大正4年（1915年）11月に大正天皇が京都御所にて挙行された即位礼を記念し、翌年、ルネッサンス様式の木骨モルタル塗2階建て、書庫は総煉瓦造り3階建ての壮麗な2代目館が落成しました。

同じ年には国鉄宮崎線が開通し、鹿児島と宮崎が1本の線につながりました。



昭和34年（1959年）、他の施設からの延焼が原因で2代目館が焼失してしまいました。その未曾有の不幸を乗り越えて、昭和36年（1961年）、鉄筋コンクリート3階建ての3代目館が完成しました。250名が収容可能なホール（講堂）も設けられ、旧館と同様に、総合文化センター的な役割を果たしました。

